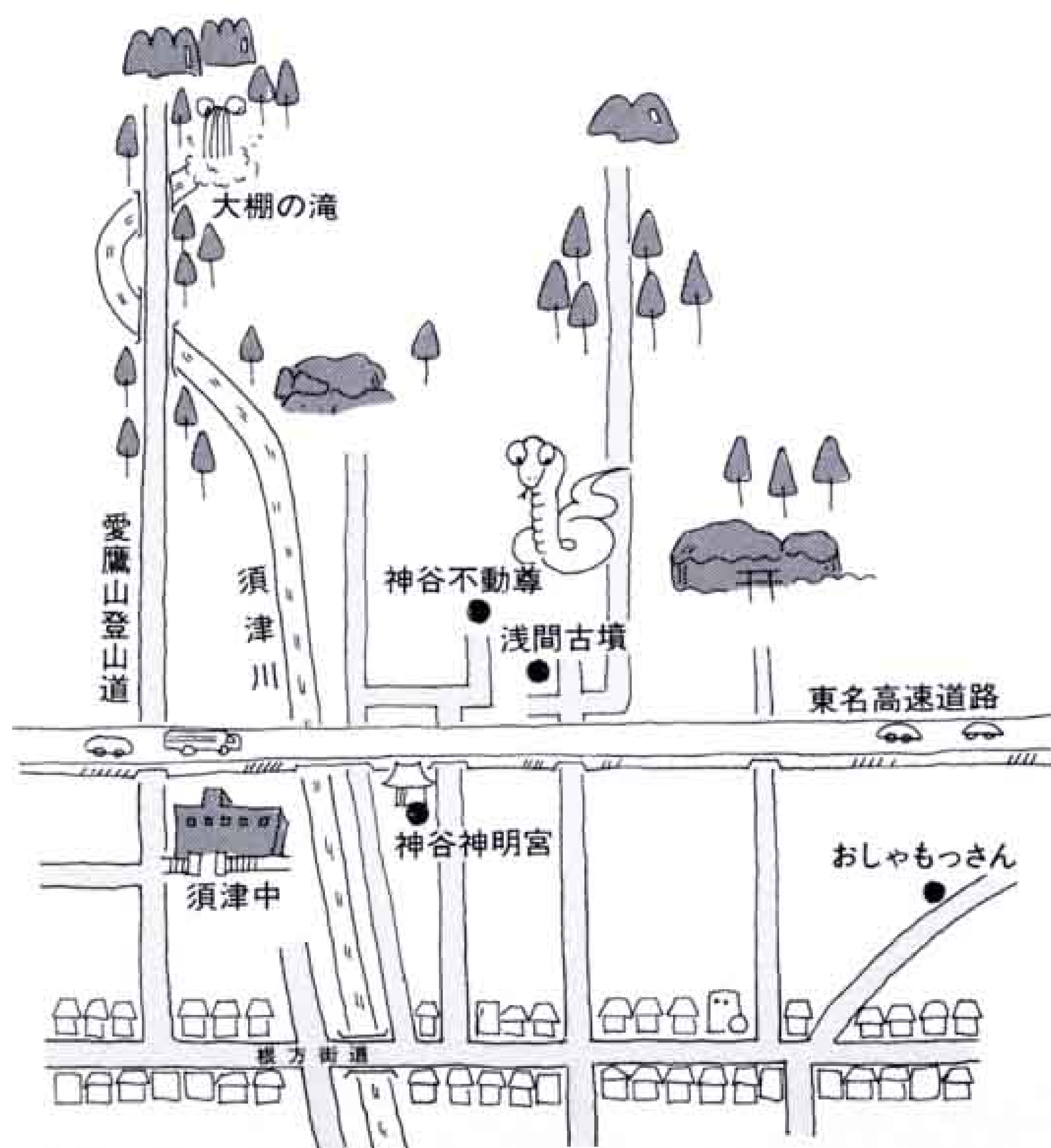




△高井裕子さん(吉原)と渡辺由香さん(大淵)

須津発 史話と伝説の里を訪ねる

# 春風に誘われて



ホカホカした日差しの中、出かけたいけどどこも混んでるので…と悩んでいる人。そんなあなたにピッタリの場所を、私たちが紹介します。

富士市って行楽地に近いので、ついつい車で海や山へ行ってしまうがち。でもちよつと調べてみると、市内にもおもしろいところをたくさん発見できるんです。私たちが体験したのは、歩く健康づくり一万歩コース。このコースは何種類もありますが、その中から今の季節にピッタリの須津地区「史話と伝説の里コース」を選びました。体育振興課でもらったパンフレットを片手に、いざ探索の旅へ。本当は歩くコースなんですが、ちよつと春風に吹かれてみたくて、今人気バツグンのマウンテンバイクで。

やわらかな木漏れ日と小鳥のさえずりに包まれながら歴史に触れ、思わぬ発見をしたりして。富士市にも、こんな一味違った体験ができる場所があるんだなあ…なんて実感しました。あなたも、ちよつと探索してみたいかが…？



### 浅間古墳

大きさ百メートルぐらいの前方後方墳で、大きさ、形とも日本では珍しいものです。駿河国の王者第一の墓ではないかと言われています。ここからは富士市が見渡せて、とても気持ちがいいですよ。

### 神谷神明宮のムク

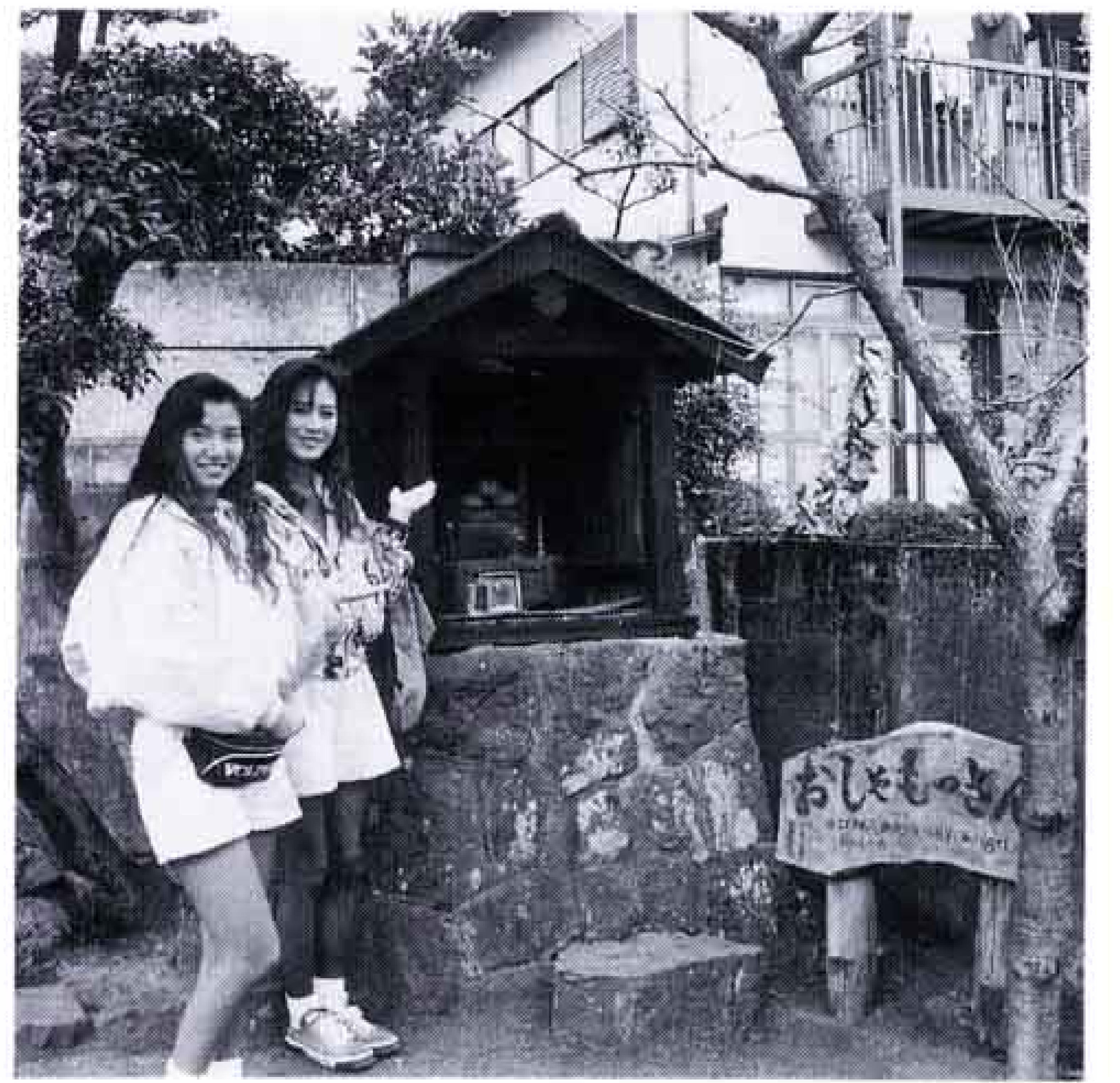
この木は高さ二十四メートル、太さは大人四人が手を広げて、ぐるっと囲んだくらい。でも、ちよつと元気がないみたい。大切にしたいですね。

### 神谷不動尊の白蛇

本殿東側の切り立った岩に、長さ二メートルほどの深い切れ目があります。この切れ目に、お不動さんのお使いと信じられている白蛇がいるそうです。三月二十八日のお祭りのときだけあらわれるみたい。白蛇を見た人は、とつても幸せになれるそうなので、お祭りに行ってみては…？

### おしゃもっさん

おしゃもっさんと呼ばれるこの小さなほころは、土地を測量したときに使った竿を、納めて祭つてあると言ひ伝えられています。細い道を入つたところにあるので、ちよつとわかりにくいかも。探検気分ですべて探してみてね。



▲おしゃもっさん

▲かみやふどうそんはくじや神谷不動尊の白蛇 「恐る恐るのぞいてみたけど蛇はいませんでした。

3月28日のお祭りにはあらわれるのかな？」



▲せんげん浅間古墳 「古墳の頂上にある神社でお参り」



▲かみやしんめいぐう神谷神明宮のムクの木 「何年生きているのかなあ？」



◁ 「道に迷つたら地元の人に聞くのが一番。おばあちゃんも親切に教えてくれました」

▷ 「時間と体力がある人は、ちよつと足を伸ばして須津川溪谷へ。すがすがしくて、とてもいい気分」

